

【財産目録の記載方法】

「財産目録」は、猶予を受けようとする金額が100万円を超える場合に、「徴収猶予申請書」又は「換価の猶予申請書」に添付して提出する必要があります。

財 産 目 録					
令和 3 年 3 月 1 日					
1 住所・氏名等					
住 所 所在地	福岡市〇〇区〇〇丁目〇—〇		氏 名 名 称	株式会社 〇〇〇〇〇	
2 財産の状況					
(1) 預貯金等の状況					
金融機関等の名称	預貯金等の 種類	預 貯 金 等 の 額	金融機関等の名称	預貯金等の 種類	預 貯 金 等 の 額
手持ち現金	現 金	500,000 円	B信用金庫△△支店	当座	150,000 円
A銀行〇〇支店	普通	150,000 円			円
A銀行〇〇支店	当座	500,000 円			円
預 貯 金 等 合 計 (A)					1,300,000 円
(2) 売掛金・貸付金等の状況					
売 掛 先 等 の 名 称 ・ 住 所	種類	回収予定日	回収方法	売 掛 金 等 の 額	
A機器株式会社	東京都〇区〇町	売掛金	〇・7・10	振込み	1,800,000 円
株式会社B電子工業	埼玉市〇市〇町	売掛金	〇・7・16	手形	1,200,000 円
C精密工業株式会社	愛知県〇市〇町	売掛金	〇・7・25	振込み	1,500,000 円
Dエレクトロニクス株式会社	山形県〇市〇町	売掛金	〇・12・20	振込み	200,000 円
(3) その他の財産の状況					
財 産 の 種 類	担保等	直ちに納付に 充てられる金額			
国 債 ・ 株 式 等	株式会社〇〇 上場株式200株	☐	200,000 円		
不 動 産 等	工場の土地・建物(福岡市〇〇区〇〇丁目〇—〇)	☒	0 円		
車 両	事業用車両3台	☐	0 円		
そ の 他 財 産 (敷金、保証金、保険等)	営業所敷金(1,000,000円)、〇〇生命保険、 A銀行〇〇支店(定期預金400,000円)	☒	0 円		
合 計 (B)					200,000 円
(4) 借入金・買掛金の状況					
借 入 先 等 の 名 称	借入金等の金額	月 額 返 済 額	返済終了(支払) 年月	追加借入 の可否	担 保 提 供 財 産 等
A銀行〇〇支店	15,000,000 円	350,000 円	△△年3月	可・ ☒	工業の土地・建物、定期預金
B信用金庫△△支店	1,800,000 円	100,000 円	△△年5月	可・ ☒	
	円	円	年 月	可・否	
3 当面の必要資金額					
項 目	金 額	内 容			
支出見込	事業支出	5,500,000 円	仕入代金1,500,000円+給与850,000円+役員給与650,000円+工場修理工賃1,500,000円 +借入金返済450,000円+諸経費348,000円+社会保険料等202,000円		
	生活費 (個人の場合のみ)	円	【扶養親族 人】		
収入見込	4,500,000 円	事業収入(取引先3社からの売掛金回収額) ・A機器株式会社(東京都〇区〇町) ・株式会社B電子工業(埼玉市〇市〇町) ・C精密工業株式会社(愛知県〇市〇町)			
(支出見込) - (収入見込) (C)	1,000,000 円	マイナスになった場合は0円 (C)の金額を②に転記してください。			
※(C)は、下記4②「当面の必要資金額」欄へ転記					
4 現在納付可能資金額					
①当座資金額((A)+(B))		②当面の必要資金額(上記(C) から転記)		③現在納付可能資金額(①-②) (D)	
1,500,000 円		1,000,000 円		500,000 円	
※(D)は、申請書の③「現在納付可能資金額」欄へ転記					

申請書を提出する日現在の手持ち現金及び預貯金の額を記載してください。

売掛金や貸付金の状況を記載してください。
記載に加えて、状況が確認できる書類(売掛帳、借入明細等)の写しを添付い

所有している財産を具体的に記載してください。
「担保等」欄には、記載した財産に抵当権等の担保権が設定されている場合にチェックを付けてく

借入金・買掛金の状況を記載してください。
記載に加えて、状況が確認できる書類の写しを添付いただいても構いません。

【事業支出】
申請書を提出する日から概ね1ヵ月以内に支出する事業の継続のため必要不可欠な金額及び内容を記載してください。給与と所得者など事業を行っていない場合は、0円となります。
【生活費】
生活費として通常必要と認められる金額を記載してください。
【収入見込み】
概ね1ヵ月以内に入金予定の事業収